

水災害対策プラン進捗について(島田市)



1.3 流域の雨水貯留浸透機能の向上

実施主体：島田市危機管理課

《施策内容》

水防活動の支援

■ 現在までの進捗状況

- ・水防訓練の実施
(計画:年1回実施、達成率100%(令和7年6月1日実施))

■ 施策実施に係る課題

- ・水防団が正しい水防工法が習得しているか、訓練を通じて定期的に検証しなければならない。

■ 課題への対応方針・今後の予定

- ・水害に備え、水防団が水防工法を訓練・習得するための水防訓練を継続的に実施していく。

水防訓練の様子



3.1 土地の水災害リスク情報の充実

実施主体：島田市危機管理課

《施策内容》

洪水ハザードマップなどの作成・周知

■ 現在までの進捗状況

・想定最大規模降雨、計画規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図を基にした洪水ハザードマップを島田市HPにて公開している。

■ 施策実施に係る課題

・島田市HPや冊子等で情報提供しているが、すべての市民が水害のリスクや避難行動等を理解・認識できているわけではない。

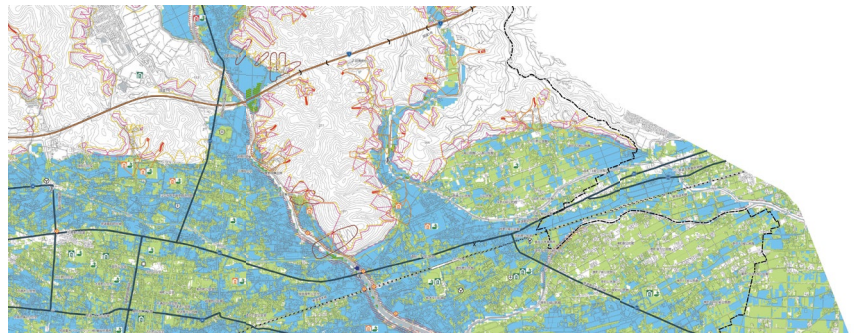
■ 課題への対応方針・今後の予定

- ・引き続き島田市HPにてハザードマップの情報を提供していく。
- ・市が行う防災講座を通じて洪水ハザードマップや水害のリスク、避難行動等について周知していく。
- ・浸水想定区域が更新された場合は、適宜ハザードマップに反映し、情報提供を行う。

ハザードマップ



栃山川水系浸水想定



3.2 避難体制の強化

実施主体：島田市危機管理課

《施策内容》

水位観測施設・監視カメラの設置

■ 現在までの進捗状況

- ・水位計・監視カメラの設置の検討を行う。

■ 施策実施に係る課題

- ・水位計・監視カメラ設置の妥当性の判断が難しい。

■ 課題への対応方針・今後の予定

- ・これまでの被害状況や水害のリスクを踏まえ、水位計・監視カメラ設置の必要性について検討していく。

島田市所管の危機管理型水位計

波田川設置の水位計



南原沢川設置の水位計



3.2 避難体制の強化

実施主体：島田市危機管理課

《施策内容》

水防活動の支援

■ 現在までの進捗状況

- ・地域住民や消防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検、水防訓練を実施した。
- ・地域住民には風水害を想定した情報伝達訓練を実施している。

■ 施策実施に係る課題

- ・水防訓練の地域住民の参加は希望者のみとしていることから、すべての地区が参加しているわけではない。

■ 課題への対応方針・今後の予定

- ・自主防災会長・委員長会議を通じて水防訓練への参加を呼び掛けていく。
- ・風水害を想定した情報伝達訓練は継続的に実施していく。

水防訓練の様子



3.3 宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明

実施主体：島田市危機管理課

《施策内容》 防災情報の共有化

■ 現在までの進捗状況

・リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報等の島田市防災メール、島田市水防メール、島田市公式LINEを配信している。

■ 施策実施に係る課題

・上記の情報の取得するためには、サービスへの事前登録をする必要があるため、提供している情報や登録方法など広く周知をしていく必要がある。

■ 課題への対応方針・今後の予定

・気象情報や地震情報などの緊急情報を素早く伝えるため、島田市防災メールの配信を行っている(24時間365日)、気象関連情報のほか、同報無線の放送内容についても放送と同時に配信しているため、建物内や大雨時の屋外など放送が聞き取り難い状況下であっても、放送内容を文章で内容を確認することができるなど、災害時の備えとして有効な情報伝達手段であることを広く周知し、登録を呼びかけていく。

防災メールの登録方法の紹介 (島田市防災ガイドブックより抜粋)

2) 市民向け防災メール配信サービス

島田市では、緊急時・災害時の情報伝達手段の1つとして携帯電話やパソコンを利用したメール配信サービスを行っています。ぜひご利用ください。



配信内容

●気象関連情報

気象警報 (市内に大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪の各警報が発表・解除された場合)

土砂災害警戒情報 (市内に土砂災害警戒情報が発表・解除された場合)

指定河川洪水予報 (大井川で指定河川洪水予報が発表・解除された場合)

記録的短時間大雨情報 (県内に記録的短時間大雨情報が発表・解除された場合)

●東海地震情報 (東海地震注意情報、東海地震予知情報が発表された場合)
※緊急地震速報ではありません。

●震度に関する情報 (市内において震度4以上の揺れを感じた場合)

●同報無線放送内容 (同報無線で市内全域を対象に放送した場合)

配信時間 24時間 365日 (上記内容をリアルタイムで配信)

登録方法

空メール (件名や本文がないメール) を送信

bousai.shimada-city@raidan.ktaiwork.jp へ空メールを送信してください。

QRコードから上記の空メール送信用メールアドレスを読み取れます。



QRコード



返信メールを受信

空メールを送信すると、件名が「メールサービス本登録のご案内」というメールが届きます。

迷惑メール対策などで受信拒否設定・ドメイン指定受信などの設定をしている場合は、「raidan.ktaiwork.jp」のドメインからのメールを受信可能にしてください。設定方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。各携帯電話会社にお問い合わせください。

3.3 宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明

実施主体：島田市危機管理課

《施策内容》 防災意識の啓発

■ 現在までの進捗状況

- ・島田市HPにて島田市防災ガイドブックを掲載しており、様々な災害リスクから身を守るための情報を提供している。
- ・島田市洪水・土砂災害ハザードマップにて浸水想定区域等の情報を提供している。
- ・台風等により被害が発生した際は、被害状況について記者提供やHPに公開するなど情報提供を行っている。

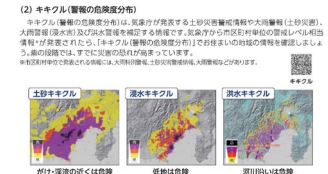
■ 施策実施に係る課題

- ・市として身を守るための情報を適宜公開しているため、その情報を各自で取捨選択していただく必要がある。

■ 課題への対応方針・今後の予定

- ・島田市HP等を通じて引き続き情報提供を行っていく。

島田市防災ガイドブック



風水害からの避難

避難とは「避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

避難所は、中学校・公園などではありません。安全な場所(火災に避難すること(保護区)もありません。

避難所が避難場所になる(避難所管理)で、避難所は4(避難所)では危険な場所から避難するタイミングです。

強い風や大雨は避難所です。避けるべきは避難所です。避けるべきは避難所です。避けるべきは避難所です。避けるべきは避難所です。



3 避難判断のための情報

知度や火の位置と向き、風向き、浸水や水かさの予測が可能なことから気象庁や国土交通省、消防機関からの情報に各自が行動する必要があります。

これらの情報は、テレビ、ラジオなどで確認でき、消防の防災無線で伝えられることもあります。消防が発表する避難指示等に対し、速やかに避難行動をとることが必要です。浸水や土砂災害等の発生が予測される場合は、事前に避難行動をとることが必要です。浸水や土砂災害等の発生が予測される場合は、事前に避難行動をとることが必要です。

(1) 警戒レベルと住むべき行動、避難行動等の情報

警戒レベルとは、災害発生のおそれの度合いに応じて5段階に分類した「住むべき行動」と、その行動を促す情報(避難指示等)に発生する浸水危険と風力(等)が発表される情報とを指します。避難行動を促す情報は、警戒レベルに応じて発表される場合があります。警戒レベルは、すでに安全な避難が可能な状況です。警戒レベルは、すでに安全な避難が可能な状況です。警戒レベルは、すでに安全な避難が可能な状況です。

警戒レベル	住むべき行動	避難行動等の情報
5	高の危険 避難指示を厳格に守る 避難行動を促す情報(避難指示)が発表される	浸水危険 大規模浸水 浸水危険 浸水危険
4	危険な場所での 避難行動を促す情報 避難行動を促す情報(避難指示)が発表される	浸水危険 大規模浸水 浸水危険 浸水危険
3	危険な場所での 避難行動を促す情報 避難行動を促す情報(避難指示)が発表される	浸水危険 大規模浸水 浸水危険 浸水危険
2	危険な場所での 避難行動を促す情報 避難行動を促す情報(避難指示)が発表される	浸水危険 大規模浸水 浸水危険 浸水危険
1	危険な場所での 避難行動を促す情報 避難行動を促す情報(避難指示)が発表される	浸水危険 大規模浸水 浸水危険 浸水危険

24 非常持出し品・備蓄品

非常持出し品は、家族構成を考えて必要なものを準備してください。「非常持出し品リスト」を参考に準備してください。非常持出し品は、非常持出し品リストを参考に準備してください。

1) 非常持出し品(例)

非常持出し品は、家族構成を考えて必要なものを準備してください。「非常持出し品リスト」を参考に準備してください。

2) 備蓄品(例)

家族で生活するためにも、水・食料とも1週間以上の備蓄を勧めます。

1週間(7日分)

備蓄品の例

備蓄品の例